8月公開例会
「目標達成のためのセルフマネジメント」
講師　奥村幸治氏

２０１４年８月27日(水)に、尾道市営中央駐車場多目的ホールにおいて、『目標達成のためのセルフマネジメント～イチローの原点を知る男、田中将大を育てた男～』と題し、講師にＮＰＯ法人ベースボールスピリッツ理事長の奥村幸治氏をお招きし、講演会を開催しました。

当日は市民の皆様にも参加していただける公開例会として開催し、１５０名あまりの方にご来場いただきました。

奥村氏は「打撃投手としてプロ野球の世界に入り、当たり前のことを当たり前にすること、目標を持って行動することの重要性など多くのことを学び、知ることができた」と話され、イチロー選手の専属打撃投手としての経験、また視察した米・メジャーリーグのスプリングトレーニングキャンプでのエピソードなどを交えながら講演をしていただきました。イチロー選手がなぜ一流であり続けることができるのか。その考え方と日々のトレーニングに対する意識など、一番近くでイチロー選手を見てきた講師だからこそ知っているエピソードを話していただき、それに熱心に耳を傾けメモを取る人の姿が多く見受けられました。

終盤には、楽天星野前監督や田中将大投手の話題に触れ、一流のプロは技術の高さだけでなく、人間性も優れていて、人としてどうあるべきかを常に考え行動しているとお話しくださいました。

講演終了後、参加者からは「自身のやる気が上がった」「コツコツと積み重ねることの大切さを学んだ」といった声も多く寄せられました。

今後も市民の方々とともに意識の向上を目指し、時代に即応した魅力ある公開例会を企画運営してまいりますので、ご参加・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

二〇一五年度理事長挨拶

沢野貴士

日頃から因島青年会議所に多大な支援を頂きまして深く感謝申しあげます。我々は設立当時から地域の方々からの励ましや手助けを受け、まちと共に成長しながら明るい豊かな社会を築き上げる事を目的に活動を行って参りました。

来たるべき未来、人口減少にともなう地方消失・地方自治体の消失が叫ばれる現在において、我々青年会議所の活動は変化が求められるものと感じております。そのような状況の中で、我々の活動は民間の公共団体としての側面の役割が今後さらに高まり、地域の中で活躍出来る人材を輩出し、まちづくりに貢献し続ける事が非常に重要であると感じています。

本年度の我々の活動は『未来への架け橋』をスローガンに掲げ、我々が住む地域に自らが誇りと自信を持ち、また、我々の活動に自信を持たせる事を目的として活動を行ってまいります。地域の中で自らが自信を持って活躍出来る人材を会員一同で育て、我々の一年間の活動が「未来への架け橋」となればと考えております。

本年度も皆様の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして実りある素晴らしい年でありますよう心より祈念申し上げ、簡単ではありますが年始の挨拶とさせて頂きます。

二〇一四年度理事長お礼の言葉

巻幡臣持

平素は私ども一般社団法人因島青年会議所の活動において深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

２０１４年度は、「有意義に」をスローガンに掲げ、意味、意義があり何よりも価値ある事を意識し、人の為、まちの為、地域の為、明るい豊かな社会の為のＪＣ活動・運動に力を注いで参りました。

アメニティー公園祭りでの「ランニングバイク選手権」、因島高校においてモンテカルロ創業者の森田浩市氏を招いての講演会、ＮＰＯ法人ベースボールスピリッツ理事長の奥村幸治氏を招いての公開例会、キッズフェスタでの「キッズフラワー教室」等、すべての事業において地域の各種団体の後援及び、地域の皆様のご協力を頂くことに価値を見出し、共同のまちづくりをして参りました。

混沌という言葉は受け取る者のマインドで意味を変えてしまいます。これからも一般社団法人因島青年会議所はこのような事業を通して、明るい豊かな社会を目指し、地域の皆様と共に混沌という未知なる可能性を切り開いていく所存でございます。

今後とも一般社団法人因島青年会議所に対しまして皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

卒業生挨拶

永宗大典

私は、２００４年に入会し11年間、我儘に突っ走ってきました。しかし、我儘に行動し推し進めようとも、一個人の出来ることには限りがありました。そんな時に周りの人に助けられ、人の大切さに気付き深く感謝を覚え、協力してくれた人に思いやりを持って接するように自然となっていき、事業を成功することが出来ました。我儘に突き進むだけではなく、思いやりや感謝の気持ちを持って行動することの大切さを実感させられました。私は、今でも思いやりの心と感謝の気持ちを胸に行動すれば、自ずとまちの人達や子ども達の素敵な笑顔に出会え、住み続けたいまち因島になると信じております。卒業してからも、その気持ちを忘れず地域のために行動していきたいと思います。今まで応援していただいた地域の皆様、ＯＢの先輩、現役のメンバーの皆様、大変お世話になりました。

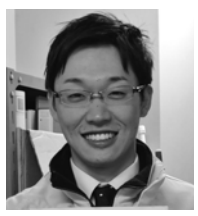
新入会員紹介

2014年度12月入会
窪田恵介
生年月日
Ｓ60年１月15日 29才
勤務先
瀬戸内電気工業㈱

父も青年会議所のＯＢということもあり、以前からお誘いいただいていた青年会議所に入会しました。昨年12月に入会したばかりでまだまだよくわからないことばかりですが、いろんな業種の人と出会え、成長する機会が沢山あると聞いているので自分から積極的に交流し学んでいきたいと思います。

2014年度11月入会
村上佑太
生年月日
Ｓ60年12月６日 29才
勤務先
手もみ　たけや

出身は廿日市ですが、両親の故郷である因島で仕事がしたいと思い開業しました。同年代の知り合いが欲しいと考えていたところ、偶然現役メンバーの方がお客さんとして来店し、青年会議所のことを知り興味を持ち入会しました。いろんなことを楽しんで積極的に取り組んでいきたいと思います。



2014年度６月入会
岡野邦治
生年月日
Ｓ58年12月21日 31才
勤務先
㈱丸扇技行

青年会議所には現役メンバーの方に、お誘いいただき入会しました。昨年入会し、たくさんの人と出会い様々な考え方に触れ刺激を受けることができました。今年は、入会後半年ですが委員長に任命され、期待と不安の毎日ですが、精いっぱいやれることをしていきたいと思っています。

ＪＣボックス

コミュニケーション

人類は過去５００万年の間、進化する為に様々な能力を手に入れて来ました。その能力の一つに心を相手に伝えるコミュニケーション能力があります。古代、声を発する器官が優れていた人類は狩りの際、仲間に言葉で意思を伝えることによって組織的な狩猟が行え、団結したグループを作り、繁栄を遂げて来ました。

現代では言葉や文字だけでなく様々な端末を使うことで、遠く離れた人と多くの情報を交換することができます。しかし、それがかえって人間関係を希薄にしている場合もあります。

ＩＴ化・デジタル化の進むこの現代においても、コミュニケーションツールとして昔ながらのアナログの会話は私たち人間にとって、とても重要な能力であると考えます。

ぜひ、家族が集うこの正月に家族の絆を深める為、一家団らんでゆっくり会話を楽しんではいかがでしょうか。

会員募集

一般社団法人因島青年会議所は、本紙面に紹介したような事業を通じて地域社会の発展に取り組む活動をしております。

その活動の中で様々な出会いや経験を積み人間的に成長していくことも目指しています。

20歳から35歳までの青年（男女を問わず）で活動を通じて学びたい方は、事務局または、ＪＣメンバーまでご連絡をください。

その他の活動報告について

ホームページやFacebookに掲載していますので、閲覧してください！

ホームページアドレスを変更しました。

http://innoshimajc.com

因島ＪＣ　検索

一般社団法人 因島青年会議所
2013年7月4日より一般社団法人に移行しました
広島県尾道市因島土生町1762-38（因島商工会議所ビル内）
TEL（0845）22-6116 FAX（0845）22-8017
E-mail:insei@mx4.tiki.ne.jp

MESSAGE

本紙では皆さんからの投稿を募っています。地域の身近なご意見・ご感想、またＪＣに対するご意見・ご要望を是非お聞かせ下さい.
お待ちしております。